

備前市事務事業評価表

事務事業名	特定疾患医療附帯療養交通費補助事業	コード	02-01-03-24
		担当課・係	福祉事務所障害者福祉係
		担当者	田中淳一
事業実施期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日	電話	内線183
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり	
	小項目(施策)	障害者（児）福祉	

事業について	
目的 (何のために)	特定疾患の患者に対し、交通費の補助を行うことで経済的負担を軽減する。
対象 (誰・何を対象に)	特定疾患の患者
内容	特定疾患の療養に係る交通費を週2回、月額5,000円を限度に支給する。

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
交通費補助件数	171 件	183 件	
事業費 (単位：千円)	事業費	財源	事業費
	直接事業費 1,972 人件費 2,584 合計 4,556	国庫補助金等 受益者負担 市債 一般財源等	直接事業費 1,822 人件費 1,700 合計 3,522
必要人員	0.37 人	0.25 人	

結果指標	結果指標名	交通費補助件数	交通費補助件数	
	結果指標量	171	183	
	単位	件	件	
	対前年比	—	107.02%	0.00%
結果指標	活動にかかるコスト	4,556,000 円	3,522,000 円	
	単位当たりコスト	26,643 円	19,246 円	
	結果指標名			
	結果指標量			
結果指標	単位			
	対前年比	—		
	活動にかかるコスト			
	単位当たりコスト			

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	特定疾患の患者に対し、交通費の補助を行うことで経済的負担を軽減する。		
成果指標名	交通費補助件数	式又は説明	
	17年度	18年度	
成果指標量	171	183	
対前年比	—	107.02%	0.00%
到達目標値	183	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等： 備前市特定疾患医療附帯療養交通費補助交付要綱	妥当性評価<A~E> B
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	特定疾患該当者の把握を厳重に行う。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B	
効率性の評価	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	補助金の交付は10月と4月の年2回とし、申請の簡素化を図っている。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 183	結果指標量
成果指標量	交通費補助件数	

総合評価	評価区分 <A~E> B
二一ズも高く有効な事業である。	

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
		<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果